

## 101歳の女流画家を区長が表敬訪問

JR阿佐ヶ谷駅から徒歩10分ほどの住宅街にあるシルクロード記念館があります。この記念館は、101歳にしてなお現役を貫く洋画家・入江一子さんの美術館兼アトリエです。8日、その入江さんを杉並区長が訪ね、長寿の祝いをしました。

---

入江一子さんは、1916年5月生まれの101歳です。しかし、創作意欲に衰えはなく、美術館兼アトリエのシルクロード記念館（杉並区阿佐谷北2丁目）には、これまでに入江さんが手がけてきた100号・200号という大きな作品が展示されているほか、現在も次の作品展に向け創作活動が行われています。また、先月には「101歳の教科書 ～シルクロードに魅せられて～」（生活の友社）から発売されたばかりです。

今年1月27日から2月4日に、「入江一子100歳記念展—百彩自在—」が、上野の森美術館で開催され、大変な入場者でにぎわったそうです。100歳にしてなお現役、生涯現役を貫く入江さんのパワーにあやかろうとするものでしょう。こうした活動は、テレビや新聞でも取り上げられました。

杉並区には、11月1日現在で100歳以上の方が365名（男53名・女312名）います。こうした方の中から、お元気で活動している方の中から、毎年、男女1名を区長が訪ねて、長寿のお祝いをしています。100歳を過ぎても健康でいきいきと過ごされている方は、区民の目標ともなります。



8日午後2時、田中良杉並区長がシルクロード記念館の入江さんを訪ねました。入江さんは、区長から長寿祝いの花を笑顔で受け取りました。入江一子さんは、「シルクロードを旅して、世界中を廻りました。日本国内もいろいろ訪ね、きれいな風景を観ました。しかし、暮らしやすさなら何でも揃って便利な阿佐ヶ谷に限りますよ。」と笑顔で話していました。入江さんの作品は、幼少期を過ごした韓国や中国など東南アジアからヨーロッパのシルクロードをテーマにしたもので、色彩の豊かさが特徴です。



---

### [問い合わせ先]

入江一子シルクロード記念館 TEL 03-3338-0239

保健福祉部高齢者施策課 TEL 03-3312-2111 内線 1164